

アセスメントシート(触法障害者特化版)

記入例

作成日 平成31年〇月〇日

記入者: (上下 右近) 所属: (醍醐保健福祉センター障害保健福祉課)

(1) プロフィール

氏名	ふりがな ひがしやま だいご			性別	生年月日	H元年 2 月 3 日 (30歳)
	東山 大五			男		
住民票所在地	〒000-1111 京都市山科区・・・・				連絡先 (電話番号など)	090-0000-1111
帰住予定 (希望) 地	京都市山科区内				帰住予定の 根拠 (理由)	土地勘がある。居候していた友人宅は天津市にあるが、年金搾取等されていたため、会いたくない。
家族構成	氏名	続柄	年齢	職業	現住所	同居別
	東山 一郎	父	55	会社員	徳島市	別
	東山 二三子	母	53	パート	徳島市	別
	東山 三郎	兄	33	会社員	徳島市	別
	東山 四四子	姉	32	主婦	広島市	別
						同・別
						同・別
						同・別
ジェノグラム						
家庭事情	※家族の理解度、協力度、経済状況、家庭の特殊事情(家族の障がいの有無)、成育歴等 障害のある家族はいない。 徳島にて三人兄弟の末っ子として出生。経済的には裕福な家庭ではなかった。両親はまじめに働いていた。兄、姉には非行歴はない。 学校の成績は悪かった。小学校5年生頃より学校を休みがちとなり、中学生や上級生のいるグループでの万引き、喧嘩などで度々補導された。外泊なども多く、両親は本人の教育に疲れ、中学1年時より児童養護施設入所となる。施設入所中に療育手帳を取得した。 地域の小学校、中学校を卒業後は総合支援学校の高等部に進学した。卒業後は滋賀県の工場に住み込みで働いていた。					

エ コ マ ッ プ 等	支援センターらくとう 山科保健福祉センター生活福祉課（今後） 山科保健福祉センター障害保健福祉課
--------------------------------	--

(4) 医療状況

身長	1 5 8 cm程度		体重	やせ型・標準肥満・不明 kg	
視力	眼鏡使用（有・無・不明）		血液型	(A・B・O・AB・不明)	
	日常生活に支障の有無（有・無・不明）			聴力	
てんかん	有・無・不明	(種類、発作の状況、頻度)			
感染症	有・無・不明		口腔状態	入れ歯、虫歯など	
皮膚疾患	有・無・不明		食品・薬品 に対するの アレルギー	有・無・不明	
現在 治療 中の 疾病	疾病名	病院名(通院状況)		投薬・治療の状況	
	盲腸	不明		小学3年時	
既往 歴・ 主な 病歴	年月	疾病名	病状・治療歴		病院名

※医療面で特に留意すべき点

(5) 日常生活状況

※ () に当てはまるものに○を付ける

調理	(自立 ・ 要確認 ・ 要介助)	※適切な食材の購入 栄養価の考慮 調理の習慣 など
	調理の経験が無い	
食事	(自立 要確認 ・ 要介助)	※摂食量(拒食・普通・過食) 偏食 特別食の必要性 など
排泄	(自立 要確認 ・ 要介助)	※失禁・夜尿の有無、程度 便秘・下痢の体質 など
睡眠	(自立 要確認 ・ 要介助)	※睡眠の安定度 睡眠が浅い・寝つきが悪い など
入浴	(自立 要確認 ・ 要介助)	※体洗い・洗髪の自立度 入浴の習慣 など
	入浴マナーの習得が不十分なため、教えてもらう必要あり。	
洗面 歯磨き	(自立 ・ 要確認 ・ 要介助)	※歯磨きの自立度 習慣 など
	サボる傾向あり。チェックが必要。	
掃除 洗濯	(自立 ・ 要確認 ・ 要介助)	※掃除・洗濯の自立度 整理整頓の習慣 など
	慣れるまでは指示や声かけが必要。	

着脱衣	(☒ 自立 要確認 ・ 要介助) ※着脱衣の自立度 身だしなみ T P Oに応じた服装 など
	通常場面では自立だが、特別に配慮が必要な場面では身だしなみやT P Oについて助言が必要。
※日常生活の中で、特に留意すべき点 日常生活の事項において、実際の支援に活かせる点	

(6) 社会性

※ () に当てはまるものに○を付ける

意思伝達	※複数選択可 ■言語 □文字 □文章 □写真、絵カード □その他意志伝達手段 ()
	コミュニケーションについて (積極的 ☒ 普通 消極的) ※言語能力、理解力など具体的に 意思伝達は、流暢にできる。嘘をつくことに罪悪感がない。 依存できそうな相手には、ベッタリとした支援を求める。
危険物の理解度	(自立 ・ ☒ 要確認 ・ 要介助) ※火気類・刃物類・薬物類の危険の理解度 危険察知能力 など 火気や刃物の危険はある程度理解できている。薬物については、自分の経験から危険を判断しているため、未経験の薬物については危険を理解できない。支援者の助言はあまり聞かないため、見守りが必要。
金銭感覚 金銭管理	(自立 ・ 要確認 ・ ☒ 要介助) ※金銭価値の理解 管理能力 計画性の有無 節約型か浪費型か 金銭管理能力は低い。お金は持つと全て使い切る傾向あり。 支援者の意見を聞く気持ちがほとんどない。
公共交通の利用	(☒ 自立 要確認 ・ 要介助) ※交通機関を一人でどの程度までできるか 分からないときには、人に尋ねることができるため、自立。 救急車をタクシー代わりに利用したこともある。
飲酒	※飲酒習慣の有無・程度 アルコールの種類 など (過去の状況も含めて) 飲酒の習慣はない。
喫煙	※喫煙習慣の有無・程度 など (過去の状況も含めて) 喫煙の習慣はない。
薬物依存	※依存性、習慣性の有無・程度 薬物の種類 など (過去の状況も含めて) 薬物使用の習慣はない。
ギャンブル依存	※依存性、習慣性の有無・程度 ギャンブルの種類 など (過去の状況も含めて) ギャンブルの経験はあるが、依存はない。
趣味 特技	なし。

※社会性の中で、特に留意すべき点 社会性の事項において実際の支援に活かせること
 コミュニケーションは良好。
 馴れ馴れしい印象がある。自分に都合の悪い場面で意識消失したような状態になることがある。この場合は、放置しておけばしばらくの後に元の状態に戻る。
 身体は丈夫で、力も強い。
 物事の善悪もある程度は分かっているが、行動を合わせる必要は感じない。
 損得の理解は高いので、得になったり、楽になったりすることには積極的な興味を示す。

(7) 性格・行動の特徴

性格	情緒面、協調性、集中力、依存心、衝動性など	
	(長所) 羞恥心があまりない。恥ずかしい目に遭っても引きずることがない。フラッシュバックなどでパニックになることはない。 相手の立場や気持ちを理解する能力はある程度はある。	(短所) 短期で、短絡的な考え方。衝動性も高い。 愛着障害があり、依存できる人にはとても依存的になる。 自分の得になることならば、他の人が傷ついても構わないと考える。
集団生活 対人関係	※集団のルール 役割・当番等の意識 対人トラブル 交友関係 など 集団のルールは理解できる。ルールを守らねばならないとは考えていない。	※実際の支援に活かせること・リスク回避の方法 損得がわかる。自分の得になることならばルールも守れる。 集団は嫌いではない。集団で楽しむ事は好き。
職業観	※職業意識 職業意欲 就労の希望 希望の職種 適正 など 不明。	※実際の支援に活かせること・リスク回避の方法 お金が好き。
性的モラル	※異性への関心度 性の抑制度 性的問題行動 特異な性癖 など モラルは感じられないが、特に経験や知識が多いわけでもない。	※実際の支援に活かせること・リスク回避の方法 損得がわかるので、性的な教育もしやすい側面がある。
反社会的行動	※暴言 暴力 盗癖 放火癖 放浪癖 など 盗難。衝動性が高いため、興奮すると暴力に及ぶこともある。	※実際の支援に活かせること・リスク回避の方法 刑務所がとても嫌な場所であると分かっている。
固執性 こだわり	多分、マザコン。母に近い年齢の人にはとても甘える。要求を受け入れてくれなければ、自傷行為に及ぶと言って要求を通そうとした経験がある。	※実際の支援に活かせること・リスク回避の方法 怖がりなので、実際に自傷行為に及ぶことはないと考えられる。

※その他特記事項

(8) 學歷・施設利用歴・職歴・生活歴・非行歴・犯罪歴

[illegible]

(9) 犯罪の状況

罪名 (非行名)	傷害・建造物侵入	刑名 刑期	懲役 1年2月
矯正施設名	〇〇刑務所	担当(窓口) 職員名	山品 SW
刑期終了日	平成30年6月1日	入所度数	3入
犯罪の概要及び動機・原因(生活状況)	友人と共に廃業中のパチンコ店に侵入し、パチンコの玉を盗み出し、他店で使用しようとしたところ、店員に見つかり、店員を殴って逃亡したが、警察に通報され逮捕された。 動機は、遊ぶお金を得るため。 友人とは遊技場で知り合った。住み込みの仕事を退職後は友人宅に居候していた。この事件までにも度々非行を行っていたが、友人や友人の仲間の指示に従って危険な役目をさせられていたと思われる。 友人の仲間の援助により、障害基礎年金の受給ができていたが、年金は友人らに管理されていた。本人は、友人らに年金を搾取されていたという自覚があるため、友人たちとは顔を合わせたくないと考えている。おそらく、暴力も受けていたと思われる。		
犯罪性の特徴	※(例) 粗暴性あり、性的課題あり 等		
共犯者の有無状況	共犯者あり。		
反社会的集団との関係	犯行の当時は密な関係があったが、現在はない。		

(10) 将来の生活設計

		短期目標(出所してすぐ実施したいこと)	長期目標(将来の願望)
	就労・日中活動面	お金を稼ぎたい。	たくさんお金の稼げる楽な仕事がしたい。
本人の意思	生活面	ひとり暮らし。 面倒くさい事はしたくない。	結婚したい。
	利用希望の福祉サービス	ヘルパーさんにご飯を作ってほしい。	家事ができるようになる。

	資格取得の要望等	運転免許を取得したい。	車を買ってドライブがしたい。
	その他の意向		
本人の意向に向けた課題整理		短期目標(出所してすぐ実施したいこと)	長期目標(将来の願望)
	就労・日中活動面	まず、毎日、規則正しく生活する訓練が必要。 就労継続（B型）事業所に通所して、規則正しい生活を習得する。また、言葉遣いや他の人とのコミュニケーションを獲得する。 就労意欲を高める。好きなことを探す。	好きな仕事を見つける。 夢中になれるようなことを見つけ、そのために働けるようになる。
	生活面	家事の習得。 ヘルパーさんと共に家事を行い、ひとりでもできることを増やす。	ひとりで家事をこなす。
	その他	金銭管理をしてもらう。 無駄遣いをすることなく、計画的にお金が使えるように、援助してもらう。 嘘をつかないこと。	月1～2回程度の金銭管理で、生活できるようになる。

※その他、本人の状態を示す資料があれば添付してください。